

タイの計量標準体制の強化に貢献

～タイ国家計量標準研究所に係る認定の移管に関するMOUの締結について～

- ・ NITE（ナイト：独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：安井 至、本部：東京都渋谷区）認定センター（IAJapan）は、平成24年6月8日にタイ国家計量標準研究所（NIMT）及びタイ工業省工業標準局（TISI）との間で、「タイ王国の計量標準に対する認定の移管に関する包括的覚書（MOU）」を締結しました。
- ・ これは、IAJapanが本年5月に、タイ国家計量標準研究所（NIMT）が我が国の国際協力に基づき国家標準として整備した8分野すべての認定を完了したことを契機に、そのすべての範囲の認定をTISIに移管するためのものです。
- ・ NIMTは、タイ国での標準供給体制が国際的にも受け入れられるものとするため、国際試験所認定協力機構（ILAC）に参加しているIAJapanの認定取得をしていましたが、この移管により、タイ国家計量標準の供給体制を自国内で容易に維持・管理できるようになり、自国内のインフラ整備が進展することが期待されます。
なお、IAJapanがTISIに認定内容を移管することは、ILACの越境認定方針に沿うものです。

1. 経緯

近年、タイにおける産業化はめざましく、タイ国内のみならず、日本が輸入する製品の品質管理が重要になってきました。

このような背景のもと、JICA プロジェクトにて NIMT の計量標準が整備されました。NIMT の計量標準に係る校正が国際的に通用することを目的に、IAJapan の校正機関認定（ASNITE 認定）プログラムが活用され、2012 年 5 月までに、NIMT が申請した 8 分野全てに対する ASNITE 認定が完了しました。

一方、TISI は、IAJapan の ASNITE 認定プログラムを参考にして、国家計量標準機関に対する校正機関認定プログラムを整備してきました。

IAJapan も TISI も国際試験所認定協力機構相互承認（ILAC-MRA）に加盟していることから IAJapan から TISI への認定内容の移管が可能なシステムとなっております。IAJapan が認定した 3 分野については、2008 年に移管が完了しております。

NIMT の残り 5 分野について、移管を行うため、NIMT、TISI 及び IAJapan の 3 者が MOU の締結を行うこととなりました。

2. 今後の展望

MOU締結後、IAJapanから移管手続きが行われ、TISIからNIMTに対して認定が付与される予定です。

我が国の計量標準技術に基づいた信頼性の高い国際的に通用する、計量計測トレーサビリティのとれた計量標準がタイ国内で継続的に安定して調達できることは、地元企業、タイ製品を輸入する国内企業のみならずタイに進出している日系企業にとっても大きなメリットです。今後、タイ国内での認定を利用できれば、国際的に通用する計量標準の維持・管理も効率的かつ確実になり、事業活動のインフラ整備に大きく貢献することが期待されます。



【本ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター(IAJapan) 担当:山崎、澤田

電話:03-3481-8242 FAX:03-3481-1937

E-mail:jess@nite.go.jp